

を飲む子にも此等の病を遺して、大なる害あるべし。(以下次號)

人の婚姻をいはひまゐらせて

風静かなる

あゝこの日から

嬉しきまとの

また今日の日の

生日足日の

抑も始めにて

鴛鴦のつばさの

羽をかざねつゝ

池のみぎはに

その影うつす

松のみどりの

色香や深く

家にはにはへる

花咲きみたし

國には美しき

實をなし結び

田鶴のことぶき

龜のよはひの

長く久しく

尙は幾ひさに

二つのむくろ

ひとつのまこと

限りもわらせず

いや榮えなむ

(をばり)